



「親子懸り島釣り大会」～せたなっ子健全育成事業～



5月15日(日)開催の親子懸り島釣り大会は34名の参加がありました。小雨まじりの中、丸山会長の挨拶が終わり、早速2艘の船で懸り島へ渡りました。全員が上陸して準備が整ったところで釣りを開始!

大漁だった昨年ほどは釣れませんでしたでしたが楽しみながら釣りをすることができました。

子どもたちの中には、初めて船に乗ったという子もいて、今回の釣り大会がとてもいい経験になったのではないかと思います。

結果は下記のとおりとなっています。

大会結果

大物賞平物部門	平山 遥さん (カレイ30.0cm)
大物賞棒物部門	安藤智哉くん (アブラコ39.0cm)
大漁賞	細川颯汰くん (8匹)
じゃんけん賞	手塚 柚さん、丸山雪月さん



平成23年度せたな町高齢者大学入学式

5月25日(水)せたな町民ふれあいプラザにおいて「せたな町高齢者大学入学式」が行われました。

今年度は、北檜山いきがい学園が80名、大成くおん大学が29名、瀬棚寿大学が18名で合わせて127名が入学しました。

式典終了後は、NPO法人心・体・食サポート協会 理事長 西村幸枝氏による「心と身体つながり」と題した記念講演が行われ、様々な人の体験談などを交え健康について講演していただきました。講演の終わりには、同協会の踊り子さん2名がダンスを披露し学生を楽しませてくれました。



▼TV日曜劇場「JIN-仁-」がおもしろい。江戸時代にタイムスリップした脳外科医・南方仁が、坂本龍馬とともに幕末の動乱に巻き込まれていくヒューマンストーリーだ。その龍馬らが活躍した江戸末期、外国人が目を見張った人間文化が江戸の町にあった。庶民が考え出した思想や身のこなしで、「江戸しぐさ」といわれるものである。

▼「傘かしげ」(雨の日に互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違わすべし)。「こぶし腰浮かせ」(乗合船で後から来る人のために、こぶし一つ分腰を浮かせ席を作るしぐさ)。「うかつあやまり」(他人の足を踏んだ人もこちらこそ、うっかりいしたしました)とお詫びするしぐさ)。

▼他にも、「魚屋しぐさ」、「駕籠止めしぐさ」、「お心(し)と肥やし」、「肩引き」、「三脱の教え」…など。いずれも、相手を尊重し、身分や血筋、門閥にとらわれないことを誇りにしていた江戸っ子の粋な心意気からなる。

▼反面、戒めのしぐさとして、やつてはいけないことも示している。人前での「腕組み・足組み」。アポなし訪問や約束の時刻に遅れる「時泥棒」。しかし、でも、と文句を並べる「逆らいしぐさ」。人の前を平気で横切る「横切りしぐさ」などである。

▼また、寺子屋などには、「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる」との教えがあった。3歳で素直な心を養い、6歳で節度ある振る舞いを身につかせ、9歳で人前でも恥ずかしくない言葉遣いを覚え、12歳できちんとした文章が書け、15歳で道理がわかるようにしなければならぬというもの。

▼「江戸しぐさ」と「三つ心」…。現代にも通用する教育論であるが、人とかかわりが大切な現在だからこそ、日本人の文化として後世に伝えたいものです。





「健康づくり講座」～ながら運動～



5月24日(火)、せたな町民ふれあいプラザにおいて「せたな町健康づくり講座」が開催され、町内成人女性26名が参加しました。

講師をしていただいたNPO法人 心・体・食サポート協会の専属指導員 山本敏美氏の指導のもと、参加者は「ながら運動」を楽しく笑いながら行っていました。

今回の健康づくり講座は、成人女性の方を対象に実施いたしましたが、今後も様々な方を対象に開催していきますので、その際は、是非ご参加ください。



カルチャー教室・子どもカルチャー教室事業 「初心者・少年少女英会話教室」では、こんな活動をしています！

『初心者英会話教室』

5月19日(木)から毎週木曜日、せたな町民ふれあいプラザ・瀬棚児童会館において、一般町民を対象とした英会話教室を行っています。

参加者は、チノウ先生に中学生レベルの基本的な日常英会話を学び、さらに参加者同士で実際に自分の言葉で話すなどの実践的な英会話を学んでいます。



『少年少女英会話教室』

5月18日(水)から毎週水曜日、せたな町民体育館2階ミーティングルームにおいて、小学校1～4年生を対象とした英会話教室を行っています。子どもたちは、チノウ先生とビンゴゲームなどのゲームを通じながら英語を学び、和気あいあいと楽しく英会話を学んでいます。

◆せたな町教育委員会生涯学習課社会教育係 ☎0137-84-5111 (内線 1253) ◆